

「サマリアの女」 —先週の講壇より—

イエスは答えて言われた。『この水を飲む者は誰でもまた渴く。しかし、私を与える水を飲む者は決して渴かない。私を与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る。』

ヨハネ4:13~14【共同訳】

♪ 「サマリヤの井戸のそば イエスは腰をおろされ サマリヤの女に 声をかけられた
愛をもとめていた 裏切られて人を憎んで 生きる喜びを 忘れていた女だった
生ける水はあふれ流れ決して渴かない サマリヤの女は主の愛に満たされ変えられた」 ♪

この曲を最初に聞いたのは、もう30年以上前のことだと思います。ヨハネ4章のサマリアの女の記事をそのまま賛美にした、そしてとても心に残る歌ですので、このたび教会の賛美として選ばせていただきました。

私もかつては人生渴きを潤すために様々なことをしてきましたが、一時的には満たされても、その渴きはまた襲ってくるという、そういう堂々巡りを繰り返していたことを思い起こします。しかしイエス様に会い、サマリアの女と同様に、私の人生もまた変えられ、今に至っています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024年2月4日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇34:5

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

